



# しうら

村の世帯と人口

(10月1日現在)

世帯数	1,085
人口	4,701
男	2,319
女	2,382



## 黒がえりする牛

牛の背に夕日を

あつめ牧閉さす 仙三

○：春から放牧されていた三百四頭の牛が七カ月ぶりに里帰りました。

○：十七日から三日間、実取、岩井、脇元の放牧場で牛の牧集が行なわれ、木造家畜衛生保健所の係官らが体重測定や妊娠鑑定を行なったが、ほとんど三十〜五十キログラムも体重が増え、妊娠率も九五%と良好。

○：くろぐろと肥えた背を夕日に輝やかせながら、飼育者の手に引かれてマイホームへ帰る牛の足どりは、心なしか早い感だ。

○：この集牧が終わると、日中の日ざしは弱まり、目に見えて日の暮れるのが早くなる。そして、立冬が過ぎると寒さはかけ足でやってくる。

―岩井放牧場で写す―



11

上旬号

№.74

# 津軽北部消防事務組合に加入

## 市浦分署(常備消防)が発足

### 署員九人を発令しました

九月定例村議会にて広域消防事務組合の加入が決まり、十月一日付で津軽北部消防事務組合市浦分署として発足、このほど署員九人に辞令が交付されました。発令された署員は、あたりに県消防学校へ入校、十一月末日まで訓練を受け十二月から活動にはいります。



辞令の交付を受ける署員

常備消防の設置は、①強風、積雪と出かきが多いため、警防力を強化する②生活の近代化、高度化によって油・ガスなど危険物の需要が多く消防の専門化が必要。などのほか、木造家屋が密集しているので災害発生時の危険度が高く、予防査察活動を強化する必要もある。との観点から実現しましたが、本村の加入によって、名実ともに津軽北部二町二カ村による広域消防となりました。

分署庁舎は相内児童館西側に建設しますが、木造五・六階建てで事務室、仮眠室、待機室など八八・三七平方メートル、車庫は五三平方メートル、十二月末に完成の予定です。

また、来年度は百三十馬力、千八百リヤの水をつぎ軽化学消防車を配し、初火災などに対処するほか、初期の消火に万全を期することにしていきます。

発令された署員はつぎのとおりです。

▽司会補佐 佐藤哲也(民生課)▽消防士長 三上光治(相内)▽消防士 吉田弘(同)、三和秀夫(脇元)、奈良勝義(太田)、岡本強(磯松)、工藤広直(太田)、三和清規(相内)▽三和剛雄(同)

## 新教育長に 斎藤敏勝氏



三和房英教育長の死去に伴なう新教育長に斎藤敏勝さんが就任(十月五日付付)しました。

斎藤教育長は大正十四年三月、青森師範学校卒業。昭和十七年脇元国民学校校長となり、以後、脇元中、相内中、小泊中の各校長を歴任。四十四年二月から教育委員、同年四月から教育委員長を勤めていました。

脇元地区出身、明治三十九年二月十九日生れ、六十才。

## 嘱託員10人を改善就業

### ～農業委員会～

## さうざん相談に気軽に

農業委員会は、農業の就業改善を進めるため、就業相談員十人を委嘱しました。

この相談員は、農業後継者の養成、確実な家族協定、結婚について、の相談をはじめ、農業期労働の地域間の交流をはかるための連絡調整、農作業の貸出かせぎ留守家族に対する職業相談など、農家のみなさんごつ悩みや希望について相談を受けました。

個人の秘密は、たく守るよみなさんご不便になるようなことはしません。気軽に相談ください。

相談員はつぎのとおりです。

▽相内地区 三和久、佐藤進吉、佐藤昭憲  
▽太田地区 奈良光雄、奈良茂  
▽脇元地区 竹谷友三郎、成田哲郎  
▽磯松地区 和島儀一  
▽十三地区 三上浅吉、秋月忠孝

## 村民の意見を取入れ努力

教育長 斎藤敏勝

十月五日付をもって教育長に任命されました。村内には教育に関して意見のある立派な方々がおられますので、私が教育長に就任するとは考えてもいませんでした。以前から教育委員をしていて、関係がさらさらうと思っています。

退職して六年余の間、五年間会社勤めたもの比較的自由奔放な生活を送って来た身には甲子ゆうでも着けたような重苦しさ緊張と感ずります。今後は村教育の発展に貢献された三和前教育長の後を受け、村の方針と共に村民皆様の意見を出来るだけ取り入れて努力する覚悟でござります。から、何卒ご協力ご援助を賜わりますようお願い申し上げます。



村内で発売される枚数は十円で発売される枚数は十円が三万九千二百枚(相内二〇、二〇〇、勝元七、八〇〇三、二一、一〇〇)、十円が一万五千四百枚(相内八、四〇〇、勝元二、六〇〇、十三、四、四〇〇)、合せて五万四千六百枚です。  
発売時間は相内、十三局が午前八時から、勝元局は八時三十分からです。  
お年玉の賞品はつきぎのとおりです。  
▽一等 折りたたみ式自動車、または電子式上計算機  
▽二等 電子シャワー  
▽三等 園芸セット  
▽四等 グリーンティンダカードと封筒セット  
▽五等 お年玉切手シート  
(村内各郵便局)

調理師試験の  
願書受付中です

県では調理師試験をつぎのとおり行ないます。  
▽とき 十一月三日(日) 午前七時から

▽ところ 青森市中央二丁目、東奥女子高等学校  
▽願書受付 十月二十七日から十一月十三日まで  
▽受付 十一月一日から五所川原保健所で行ないます。くわしいことは民生課でおたずねください。

お年玉つき年賀  
はがき六日に発売

昭和四十八年お年玉つき年賀はがきは、六日(月)から全国いっせいに発売されます。

見をお聞きして税務の仕事の上で反映させるともに、税務署の仕事内容や納税の意義をよく理解しておいただくために行なうもの

一日から十日までは一納税者の声を聞く旬間として、国税庁、国税局をはじめ全国の税務署でいろいろな行なっています。この旬間は、納税者の方々が、税金に対する苦情や要望、税務職員との接態度などについてのご意

納税者の声を聞く旬間 間一日から十日まで 五所川原税務署

納税者の声を聞く旬間 間一日から十日まで 五所川原税務署

納税者の声を聞く旬間 間一日から十日まで 五所川原税務署

納税者の声を聞く旬間 間一日から十日まで 五所川原税務署

納税者の声を聞く旬間 間一日から十日まで 五所川原税務署

納税者の声を聞く旬間 間一日から十日まで 五所川原税務署

納税者の声を聞く旬間 間一日から十日まで 五所川原税務署

納税者の声を聞く旬間 間一日から十日まで 五所川原税務署

納税者の声を聞く旬間 間一日から十日まで 五所川原税務署

納税者の声を聞く旬間 間一日から十日まで 五所川原税務署

見をお聞きして税務の仕事の上で反映させるともに、税務署の仕事内容や納税の意義をよく理解しておいただくために行なうもの

一日から十日までは一納税者の声を聞く旬間として、国税庁、国税局をはじめ全国の税務署でいろいろな行なっています。この旬間は、納税者の方々が、税金に対する苦情や要望、税務職員との接態度などについてのご意

納税者の声を聞く旬間 間一日から十日まで 五所川原税務署

納税者の声を聞く旬間 間一日から十日まで 五所川原税務署

納税者の声を聞く旬間 間一日から十日まで 五所川原税務署

納税者の声を聞く旬間 間一日から十日まで 五所川原税務署

納税者の声を聞く旬間 間一日から十日まで 五所川原税務署

納税者の声を聞く旬間 間一日から十日まで 五所川原税務署

納税者の声を聞く旬間 間一日から十日まで 五所川原税務署

納税者の声を聞く旬間 間一日から十日まで 五所川原税務署

納税者の声を聞く旬間 間一日から十日まで 五所川原税務署

納税者の声を聞く旬間 間一日から十日まで 五所川原税務署

日ごろ税金について考えがあらまらしたら、この機会にお聞かせください。

一日から十日までは一納税者の声を聞く旬間として、国税庁、国税局をはじめ全国の税務署でいろいろな行なっています。この旬間は、納税者の方々が、税金に対する苦情や要望、税務職員との接態度などについてのご意

納税者の声を聞く旬間 間一日から十日まで 五所川原税務署

納税者の声を聞く旬間 間一日から十日まで 五所川原税務署

納税者の声を聞く旬間 間一日から十日まで 五所川原税務署

納税者の声を聞く旬間 間一日から十日まで 五所川原税務署

納税者の声を聞く旬間 間一日から十日まで 五所川原税務署

納税者の声を聞く旬間 間一日から十日まで 五所川原税務署

納税者の声を聞く旬間 間一日から十日まで 五所川原税務署

納税者の声を聞く旬間 間一日から十日まで 五所川原税務署

納税者の声を聞く旬間 間一日から十日まで 五所川原税務署

納税者の声を聞く旬間 間一日から十日まで 五所川原税務署

年、一度か二度、尿をしらべてもらいましょう。おそろしい合併症

糖尿病に併発しやすいのは、眼の病氣「しろぞい」でこれは進行の早い病氣です。また、高血圧になりやすく、それが動脈硬化をおこし、脳卒中心筋梗塞、尿管毒症となることが多い。尿管不足のわりに、栄養とエネルギーを多くとり、そのうえ精神的な過労がつづき、心労によるノイローゼ傾向が出やすい人、とくに管理職がかかり、やすいようです。身内に糖尿病患者がある人は、遺伝することもあると学者はいっていますから、体調には充分気をつけましょう。

糖尿病を動かすには、運動不足、精神的過労はよくありません。できるだけ歩き、また汗をながすような作業をすることはいいことです。感情をコントロールして、気分の変換をはかることは、現代病といわれる糖尿病を防ぐために必要なことです。食物は体重と各人の仕事に応じたカロリーです。過食をしないこと。飽食してゴロゴロする生活はもっともよくありません。

糖尿病は、早くみつけれ、医師の指導のもとに、主に食事療法をします。食事計画をひらいて、だてられたもので食べれば、しめたもので、医師の指示で、栄養士が教えてくれます。

糖尿病は、早くみつけれ、医師の指導のもとに、主に食事療法をします。食事計画をひらいて、だてられたもので食べれば、しめたもので、医師の指示で、栄養士が教えてくれます。

糖尿病は、早くみつけれ、医師の指導のもとに、主に食事療法をします。食事計画をひらいて、だてられたもので食べれば、しめたもので、医師の指示で、栄養士が教えてくれます。

糖尿病は、早くみつけれ、医師の指導のもとに、主に食事療法をします。食事計画をひらいて、だてられたもので食べれば、しめたもので、医師の指示で、栄養士が教えてくれます。

糖尿病は、早くみつけれ、医師の指導のもとに、主に食事療法をします。食事計画をひらいて、だてられたもので食べれば、しめたもので、医師の指示で、栄養士が教えてくれます。

糖尿病は、早くみつけれ、医師の指導のもとに、主に食事療法をします。食事計画をひらいて、だてられたもので食べれば、しめたもので、医師の指示で、栄養士が教えてくれます。

糖尿病は、早くみつけれ、医師の指導のもとに、主に食事療法をします。食事計画をひらいて、だてられたもので食べれば、しめたもので、医師の指示で、栄養士が教えてくれます。

糖尿病は、早くみつけれ、医師の指導のもとに、主に食事療法をします。食事計画をひらいて、だてられたもので食べれば、しめたもので、医師の指示で、栄養士が教えてくれます。

糖尿病は、早くみつけれ、医師の指導のもとに、主に食事療法をします。食事計画をひらいて、だてられたもので食べれば、しめたもので、医師の指示で、栄養士が教えてくれます。

季節の式



十一月は、秋から冬への衣替の月です。まだあたる様子は秋の気配がまだ多いのに、日差しは朝の弱さ、日の暮れの早さ、朝の手足の冷たさなどでそろそろ近づいた冬を思わせます。冬というのは立冬(七月)から年の立春(二月四日)の前日までのことですが、上旬はまだそう寒くなく、日中は天気も定まってきた日、和が続きま

しかし、日差しが短くなり、日が落ちてからの寒さが秋から冬への季節の変わり目は、からだはまだまだ寒さになれきれないで、日中の暖かさに頼って、まだ大丈夫だからなどと薄手の服装で出かける、夕方急な冷え込みに合わせて、カゼを引くかのように気を付けましょう。

日中は空気が乾燥しているに、相当はげしい活動をして、大した汗もかかず、いられる気持ちのよい季節です。

日中は空気が乾燥しているに、相当はげしい活動をして、大した汗もかかず、いられる気持ちのよい季節です。

日中は空気が乾燥しているに、相当はげしい活動をして、大した汗もかかず、いられる気持ちのよい季節です。

日中は空気が乾燥しているに、相当はげしい活動をして、大した汗もかかず、いられる気持ちのよい季節です。

日中は空気が乾燥しているに、相当はげしい活動をして、大した汗もかかず、いられる気持ちのよい季節です。

日中は空気が乾燥しているに、相当はげしい活動をして、大した汗もかかず、いられる気持ちのよい季節です。

日中は空気が乾燥しているに、相当はげしい活動をして、大した汗もかかず、いられる気持ちのよい季節です。

日中は空気が乾燥しているに、相当はげしい活動をして、大した汗もかかず、いられる気持ちのよい季節です。

# 第11回青少年のしあわせを守り 教育を高める大会

第十一回市浦村青少年のしあわせを守り、教育を高める大会は九月十四日、協元小学校で行なわれましたが、各分科会で話し合われたおもな内容はつぎのとおりです。

## 社会の一翼になう青年に

### 行政当局 青年対策が必要

#### 第一分科会

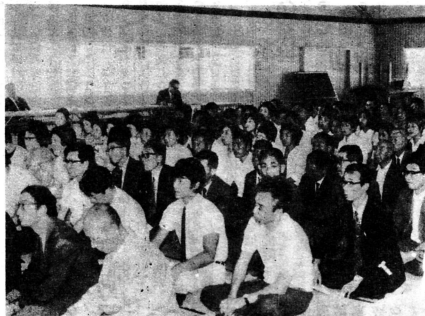
▽テーマ「青年の意欲を高めるにはどうしたらよいか」

現今では青年が進歩意をもつて組織活動できる状況ではないので、ほとんどみ

るべきものがない。これは

いふまでもなく、出かせぎによる影響が大きい。青年団活動の目的は、青年の生活を高めるとともに地域社会に貢献することにあるとすれば、在村する青年にす

べき活動や生産活動をす



真剣に討議された全体会議

ある。

現代の青年に意欲がないとすれば、地域住民にも責任がある。したがって行政当局が青年を庇立て積極的に対策を考えるべきだ。青年も社会の一翼になつて

いるのだから、青年がおとなにひびかれるようではたらない。次にどんな対策よりも先ず、家庭内で話し合いの場を持つことが大

#### 第二分科会

▽テーマ「子どもの意欲を高めるにはどうしたらよいか」

親は子どものしつけを放任してはいけない。子どもの教育は親として確固たる自信をもってあたらないければならない。そのためには親と子の話し合いを多くし心を通し合せていくべき

だ。子どもの理由も聞かずしかかるとは子どもの意欲をそこねる。たとえば通信票の評価だけに気をとられ、他人の子どもと比較するようでは意欲的に子どもは育たない。こうした見方はあらためるべきだ。

テレビの見方など、中学生は、ある程度計画的だが、低学年では親の協力的でないかぎりいつまでも問題

切であり、これが問題解決に通ずる道であると思ふ。

それが時には、父親の代理をさせ、青年の存在を認めさせる結果にもなるという。社会意識を醸成させることになる。

青年団は資力に乏しくリーダー研修に行けないというが、やるべきことをやっ

てこそ行政施策が講じられていくのではない。

## 子どもの教育は自信をもって 非行防止はクひと声運動から

#### 第三分科会

▽テーマ「子どもの健康といのちを守るためにはどうしたらよいか」

共働き家庭における非行問題は放置できない。西北五管内の調査では、①(学習面)②成績が落ちる③おちつきがない④宿題をおわすれない⑤学用品がそろっていない⑥学校の生活面⑦⑧規律面に欠けている⑨情緒の不安定⑩自分の

城を築く⑪服装、言葉が乱暴⑫明るさがない(家庭での生活)⑬⑭夜遊びが多い⑮よい友だちが少ない⑯⑰お金のムダづかいが多い⑱

番組は時間をきめてきびしくつけられることが大切である。

子どもの教育はつねに親の態度にある。子どもは、学習することによって伸びる。子どもが変わっていく

よう子を観察できる親になつてほしい。すじ道を立てて話し合える親と子でありたい。話し合いを深める

ことによつて、子どもを観察し、子どもを見る目を育て工夫していくことが、新しい児童観の芽を育てていくことになる。親は信念をもつて教育にあたるべき

だ。

これらの防止方法としては、ひと声運動を積極的にすすめて、親と子の話し合いを行なうべきだ。この場合金による解決はさける。

(有害な食品と玩具)  
①食品②母親のおやつ③あたえ方として、色味の濃い食品は危険性が高い。  
④玩具について⑤STマ

ーのついでに⑥STマをあげる⑦⑧STとは検定合格)⑨⑩の強いものはさけること。  
⑪シンナーについて⑫シンナーの危険性について親が正しい知識をもつて子どもに教えるべきだ。

### 事故防止と体力づくり

(遊び場と水難交通事故防止)

- ①水死事故防止のためプールがほしい
- ②夏季の海浜河川パトロールで事故が発生したとき救助をもつよう母親も研修の機会をもつべきだ
- ③水泳区を減少すべきだ
- ④児童館を大いに利用できるように専門指導員の設置をのぞむ

交通事故にあう子どもの傾向は①口うるさい家庭の子も(教育マ)、②運動神経の発達している子ども、③素直な子ども、④胃袋をきらう子ども、⑤成績のよい子ども

(学校給食と体力づくりと偏食)  
学校給食については①献立は栄養師が立ててほしい、②

### 第四分科会

▽テーマ「PTA活動を高めるためにはどうしたらよいか」

PTAは後援団体的性格をもつことに批判が出てきている。このことは、既に悪いとはいえない。それはその地域によってちがうからだが、そんな場合でも予

もとおいしいパンを食べさせてほしい。③時には米飯も組み入れる。

年々子どもの体位は向上してきたが、体力がともなっていない。いまの子どものたちは骨がもろくてきている。これは食生活と関係があると思う。

### (予防接種)

親が子どもの健康状態に気づけて予防接種をうけさせるべきである。

(子どもの安全指導)  
安協の支部では、雨天のときでも子どもたちの交通安全指導を行なっている。

一般の父兄も協力してほしい。家庭においてもしつけを親がもうすこしきびしくやってもらいたい。

### PTAは自主的に計画、実践

算は明確にして考えていくべきである。

PTAのあり方は、教育はどうなるかという将来を見通す教育世論を出すことであり教育は自主的な子ども会をつくることを目的としているが、実際は他主的であるところが問題がある。PTAも自主的に計画し実践していくべきであろう。

また、実際はPTAの会員は保護者でありながら、入

会は世帯、活動は母親という形をとっており、これでは進歩がないし、性格そのものがぼやけてくる。教育に関心があったら一世帯二名以上は会員になるのがのぞましい。

PTAに聞く意識が低い。ばく然と関心になり、PTAの本質を知らない人が多いのではないかと。そのようなことから、学校側では総会なり一日入学の時の機会をとりだえてPTAの姿やあり方の助言指導がほしい。自覚して会員となつたときは、PTAそのものの自主的な性格をもつてくるのではない。

### 三和さんら 四人を表彰

地域のために功勞のあつた四人のかたがたが表彰されました。

- ▽三和佐市郎(相色) PTA会長として学校環境整備に努力、青少年の育成にも貢献した。
- ▽奈良しず江(大田まゝまる会々長)婦人の地位向上子よへの非行防止に努力した。
- ▽本在勉(十三) PTAならびに子ども会の役員として、会の発展とともに健全育成に貢献した。
- ▽村元きく江(吉藤) 母子家庭として苦難に耐えながら子どもを養育につとめた。

## 交通安全 わたしの発言



### 事故防止への自覚を持つとう

市南中学校三年 高橋美子

瞬間にして一生をかえてしまふ悲惨な交通事故。この交通事故をなくすために必要なことは、左側通行等には交通事故につながる。酒を飲んだら車は絶対運転しないから、スピード制限は守るとかという運転者は自覚です。そしてそれを習慣化してしまふことです。

### 交通規則を守り安全運転を

脇元小学校六年 石沢松広

最近、車の数が多くなり、交通事故のふえ方も大変なものです。毎日多くの人がこの事故で苦しんでいます。運転が悲しんでいるのか、酒飲み運転やいねむり運転、スピードの出すぎはそのまますべて交通事故につながることを考えているのでしょいか。ぼくは交通事故の経験はありませんが、事故の苦しみはよく知っています。事故をおこしてからはおそすぎます。そのために自分殺しました。運転者もいませう。運転者のみなさんどうも交通安全規則を守り安全運転をして下さい。



